

しまねと生活展

日常に馴染む温かみのある島根の陶器や工芸品で、暮らしのワンシーンを彩ったディスプレイ。本来捨てられてしまう陶器のかけら(陶片)を、新たな形に再生して生活に取り入れるワークショップ。民藝運動により見出された日常使いのものの価値を、改めて感じてもらいませんか。専修大学の学生が、島根県の陶芸の魅力を様々な角度からお伝えします。

島根の陶芸が
あなたの暮らしを
彩ります



10/22(土)23(日)
11:00~18:30

日比谷シャンテB1F・日比谷しまね館
ワークショップ&ディスプレイ

【開催場所】

日比谷しまね館 東京都千代田区有楽町1-2-2日比谷シャンテ地下1階
*地下鉄「日比谷駅」より徒歩2分 *JR「有楽町駅」日比谷口より徒歩5分

<https://www.shimanekan.jp/>

【主催・お問い合わせ】

公益財団法人ふるさと島根定住財団 しまね移住支援サテライト東京 tel:03-6281-9800

専修大学×日比谷しまね館

[ワークショップ]

島根の陶片でオリジナルコースターを作ろう!

島根で陶芸を営む4つの窯元にご協力いただき、処分するはずの陶器を譲っていただきました。窯元の陶器のかけら(陶片)を使ってオリジナルのコースターを作ってみませんか。民藝運動(※)の影響も色濃い島根県の窯元。その魅力に触れ、生活の中にさりげなく島根を取り入れてみてください。

○両日ともに4つの時間帯に分けて開催します。

- ① 11:30~12:30
- ② 13:30~14:30
- ③ 15:30~16:30
- ④ 17:30~18:30

○定員 各回6名まで

※定員に達し次第受付を締め切ります

※各回空きがある場合は当日受付も行います

○参加費 500円

○作成していただいたコースターは、乾燥等のお手入れをして後日発送いたします。当日お持ち帰りいただくことは出来ません。

○作業中は汚れ防止のため使い捨てエプロンを着用していただきます。



[参加お申し込み]

イベント詳細、ワークショップ
お申し込みはこちらから→



(※)民藝運動とは

1926年に思想家の柳宗悦や濱田庄司、河井寛次郎などの陶芸家を中心となって展開された民藝運動。無名の職人の手から作られた日常の工芸品を「民藝」と名付け、日々の暮らしの中に存在する素朴な美しさを見出し、世の中に広めていきました。物質的豊かさだけでなく、より良い生活とは何かを追求する民藝運動の理念は、現代においてますます重要になっています。

～陶片を提供してくださる工房さんのご紹介～



白磁工房



袖師窯



石州嶋田窯



椿窯